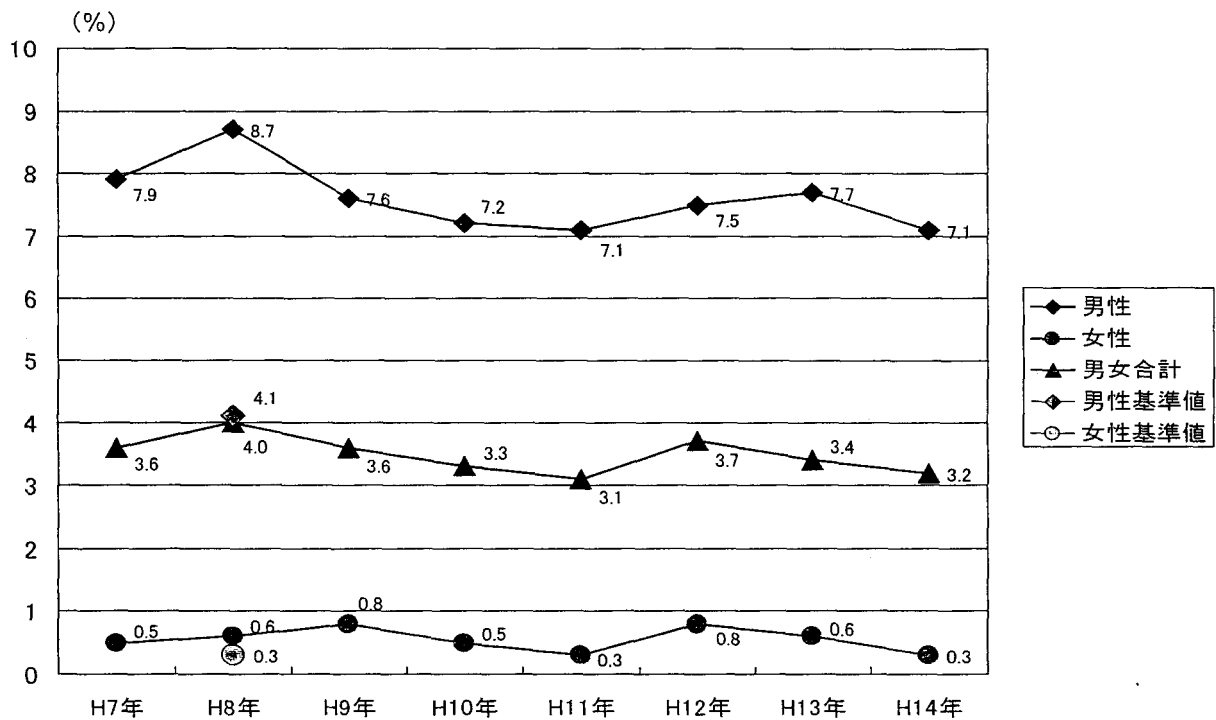


資料 3 (5)

「健康日本21」暫定直近実績値に係るデータ分析
(関係資料)

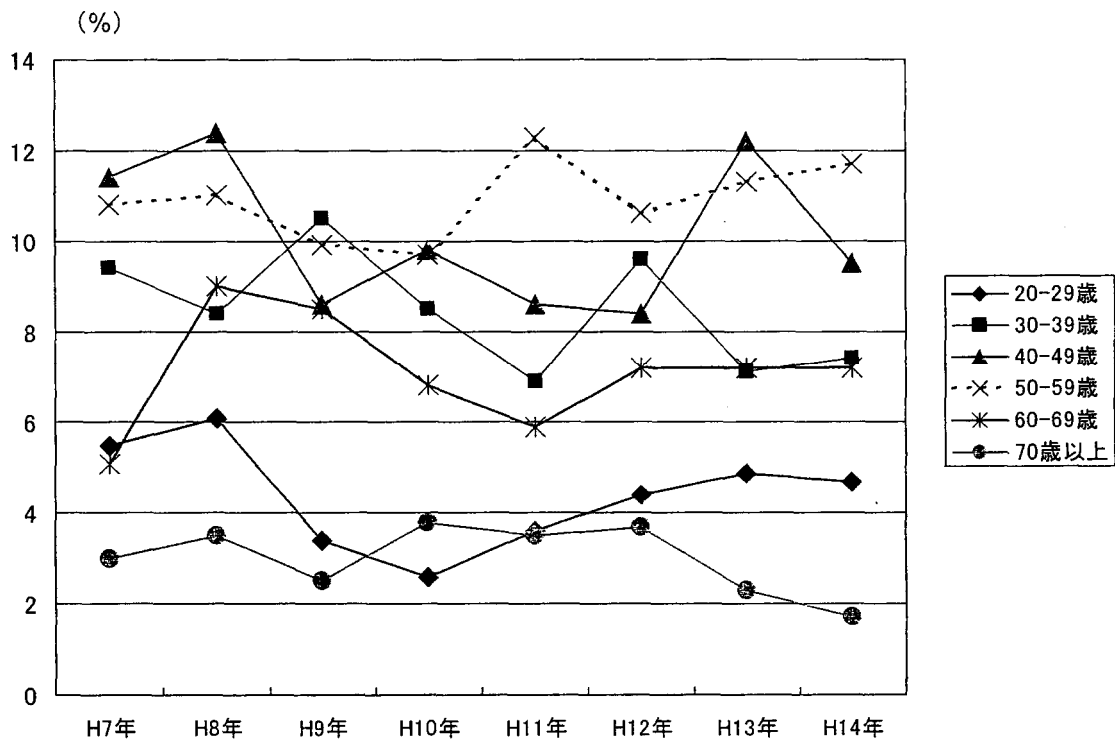
図1 多量に飲酒する人の割合の性別年次推移



資料:
国民栄養調査
平成8年度健康づくりに関する意識調査(基準値)

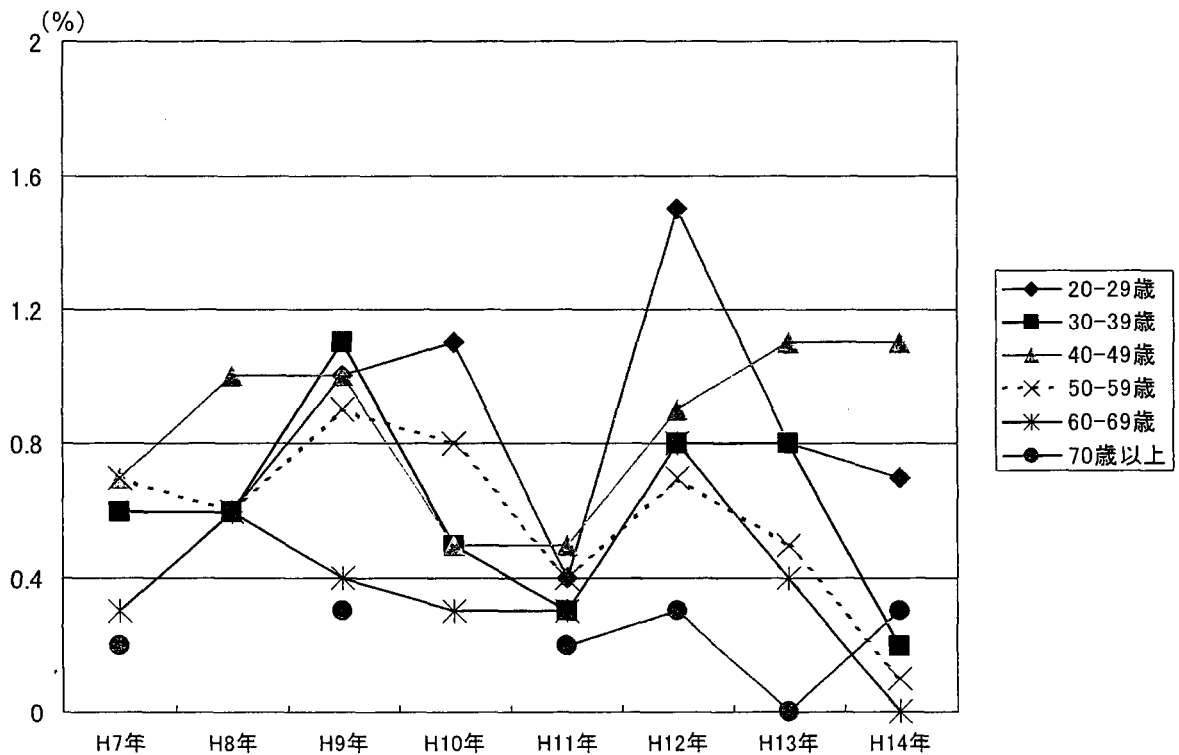
* 多量に飲酒する人とは、
1日平均日本酒3合以上飲酒している人である。

図2 年齢階級別多量に飲酒する人の割合の年次推移(男性)



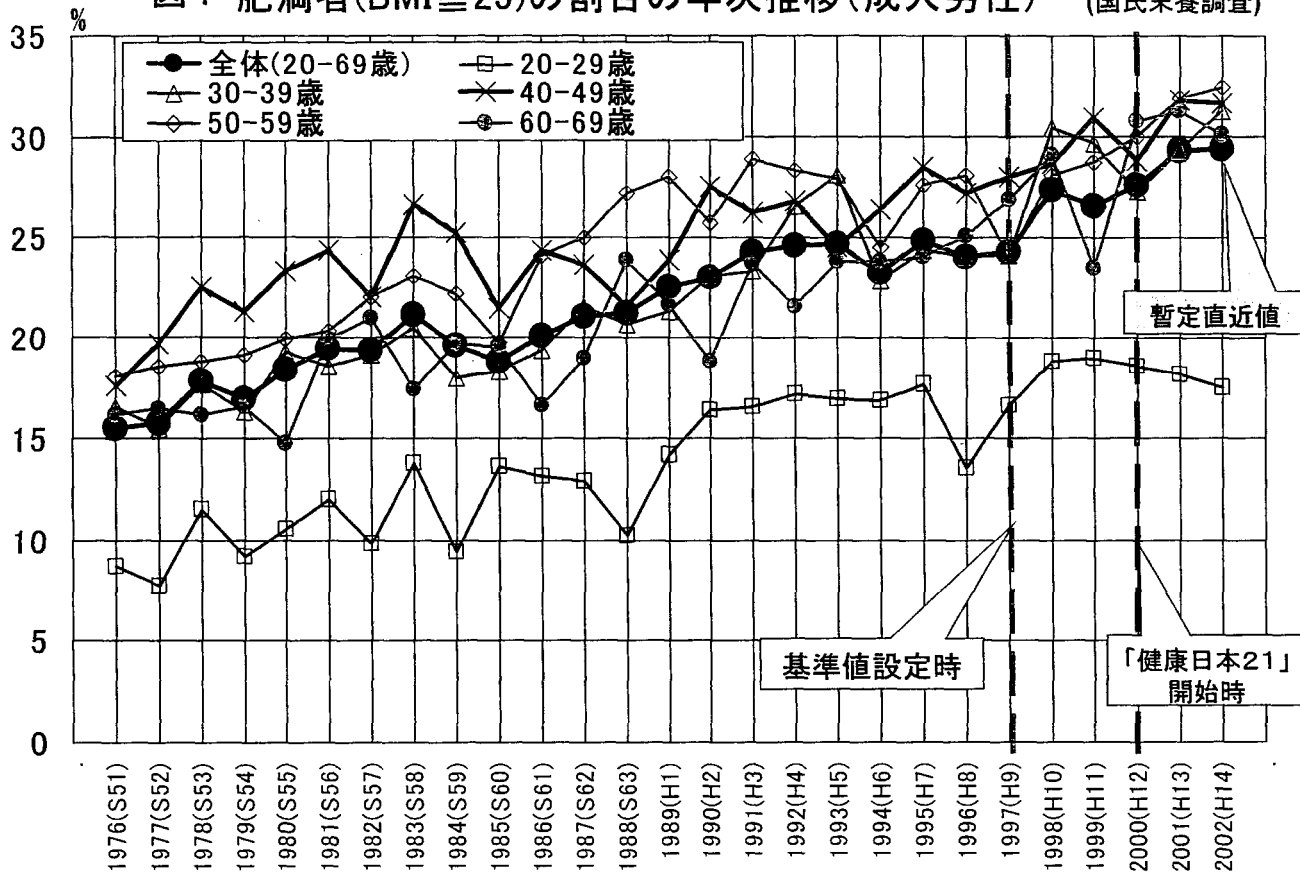
資料:
国民栄養調査

図3 年齢階級別多量に飲酒する人の割合の年次推移(女性)



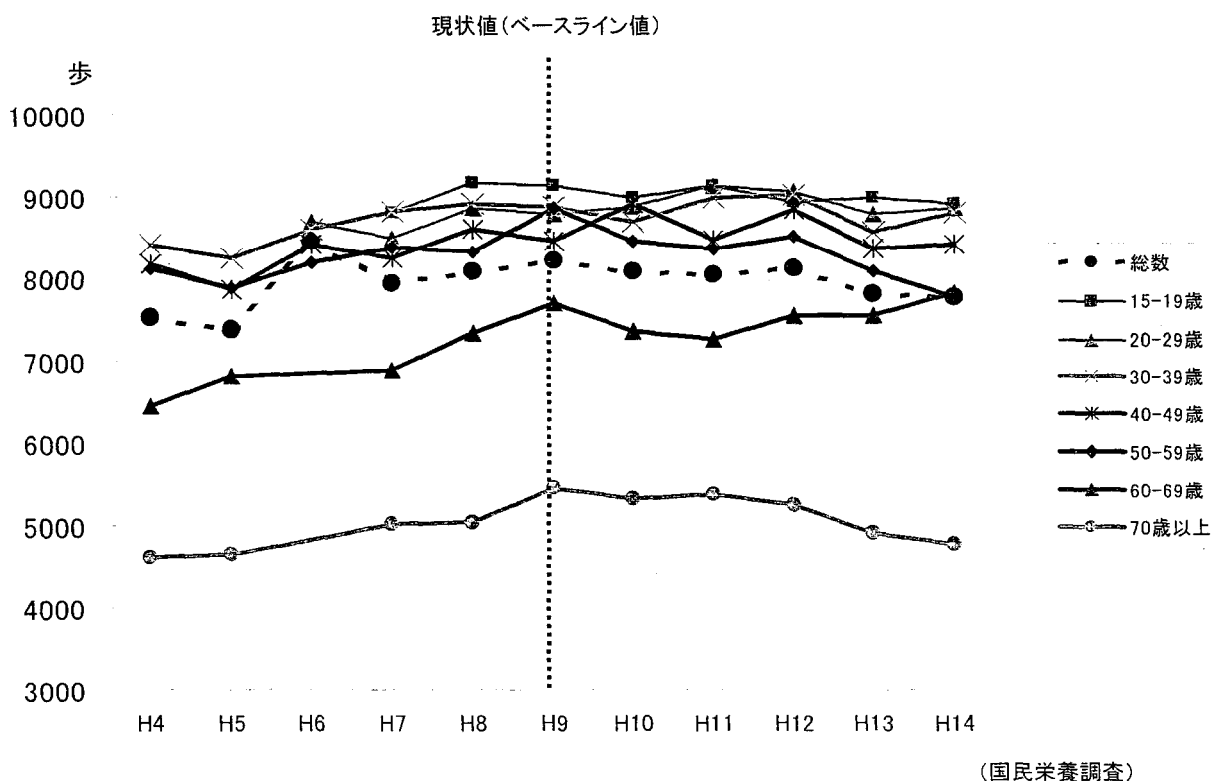
資料:
国民栄養調査

図4 肥満者(BMI \geq 25)の割合の年次推移(成人男性) (国民栄養調査)



4

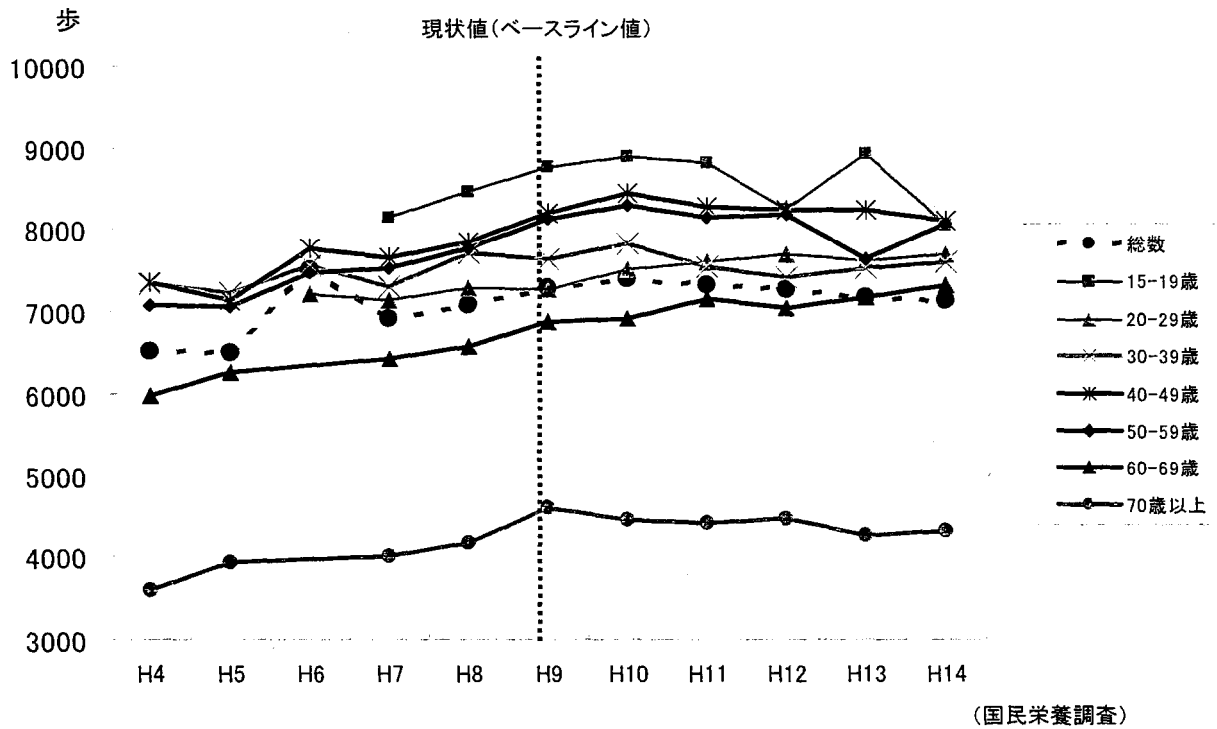
図5 年齢階級別歩数の年次推移(男性)



(国民栄養調査)

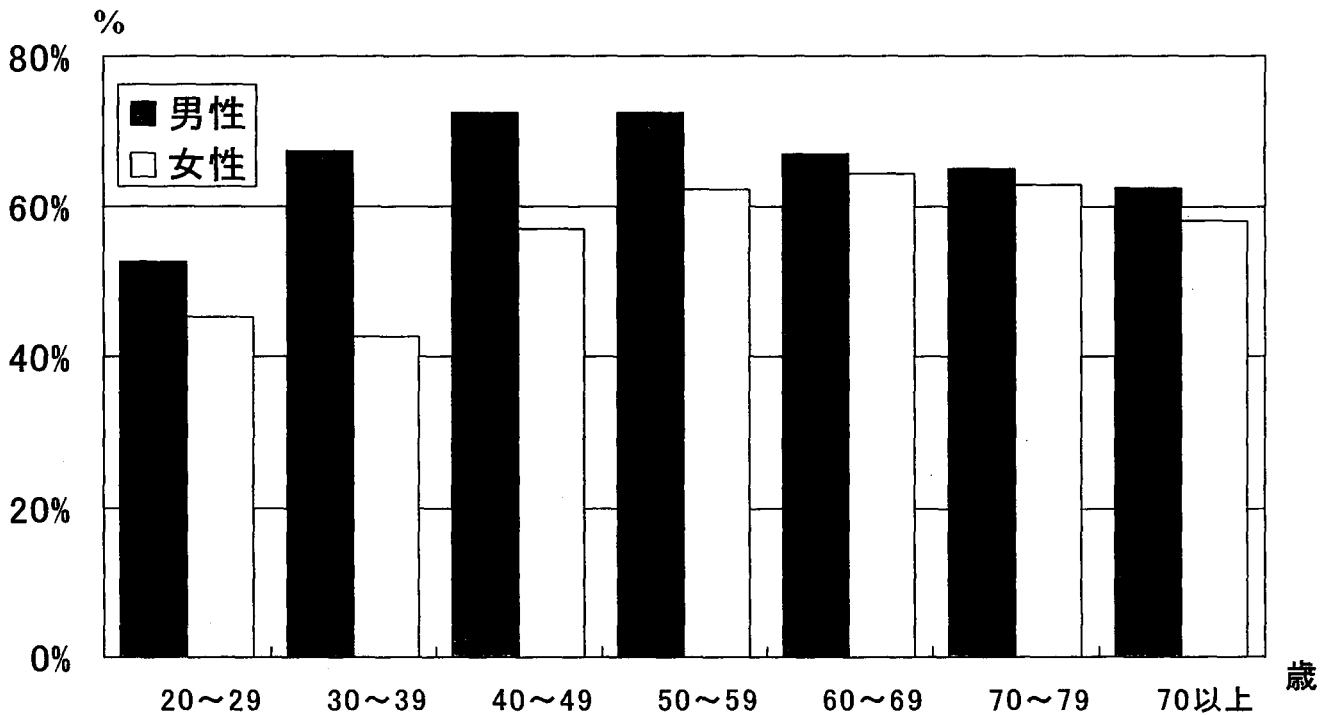
5

図6 年齢階級別歩数の年次推移(女性)



6

図7 性・年齢階級別健診受診率



(注: 受診者には入院者は除かれている)

(平成13年国民生活基礎調査)

7

図8 糖尿病の検査で異常を指摘された後に
保健指導を受けた人の割合(男性)

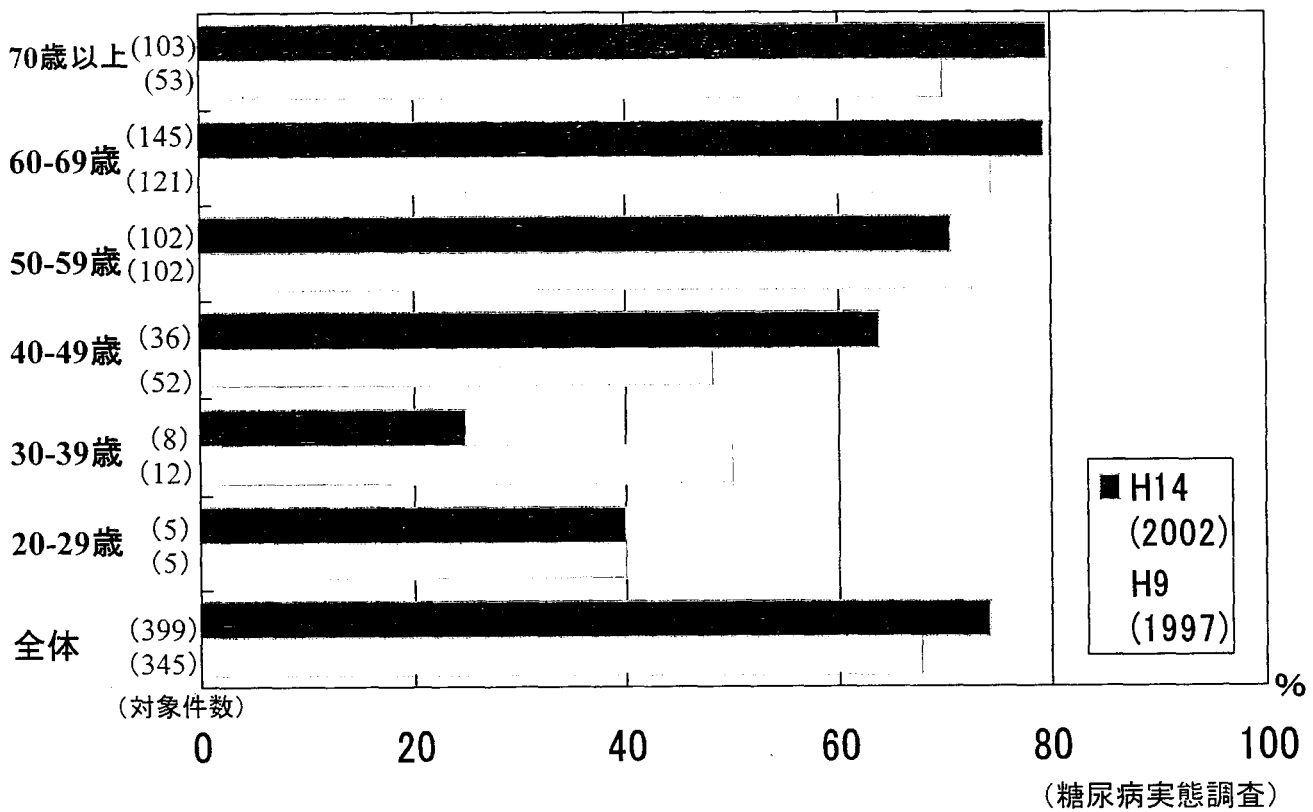
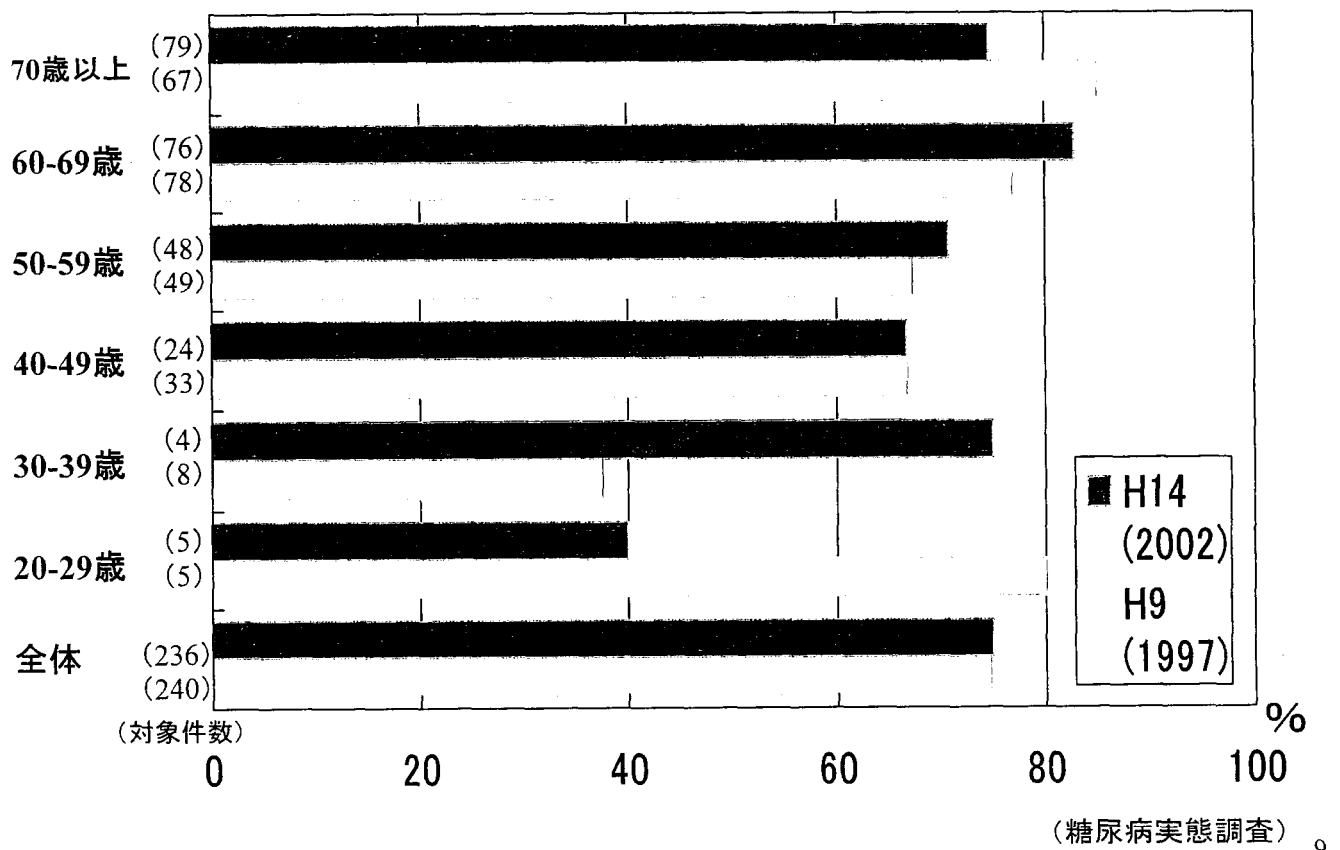


図9 糖尿病の検査で異常を指摘された後に
保健指導を受けた人の割合(女性)



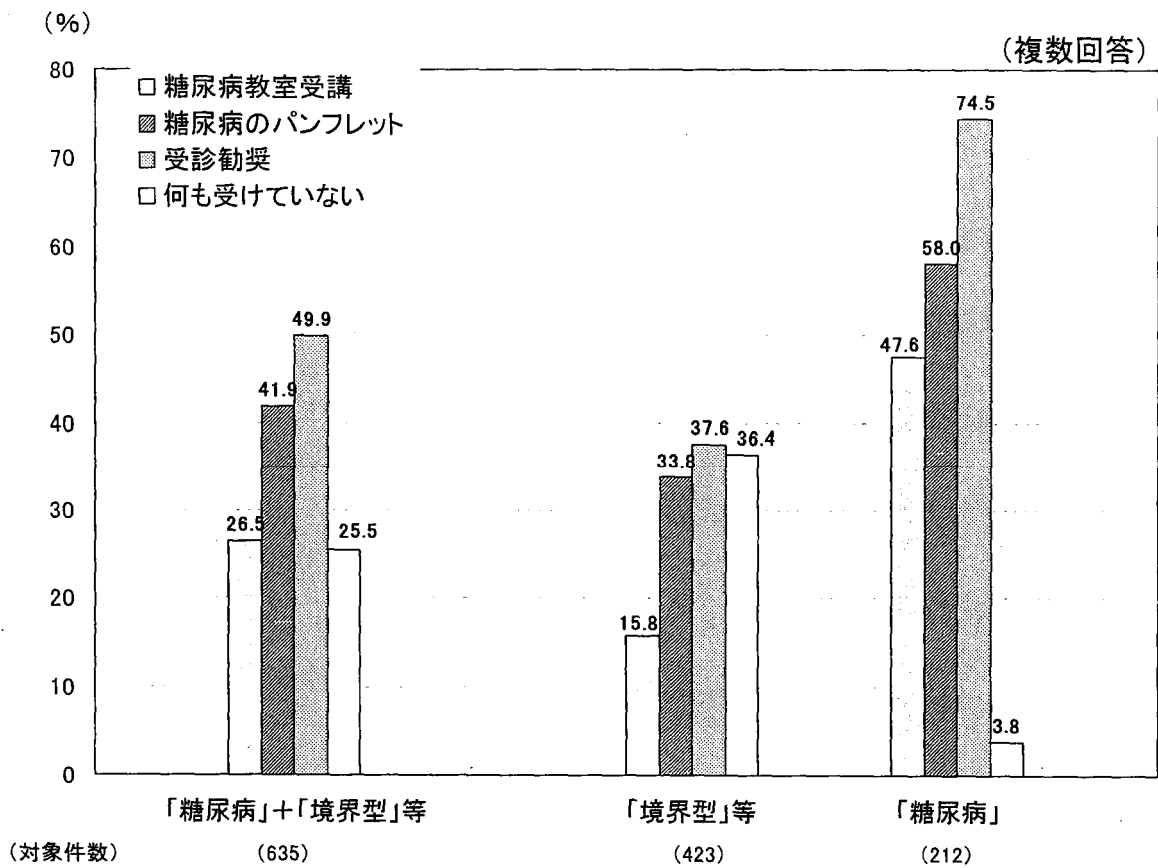


図10 糖尿病の検査で異常を指摘された後の保健指導内容

(糖尿病実態調査)

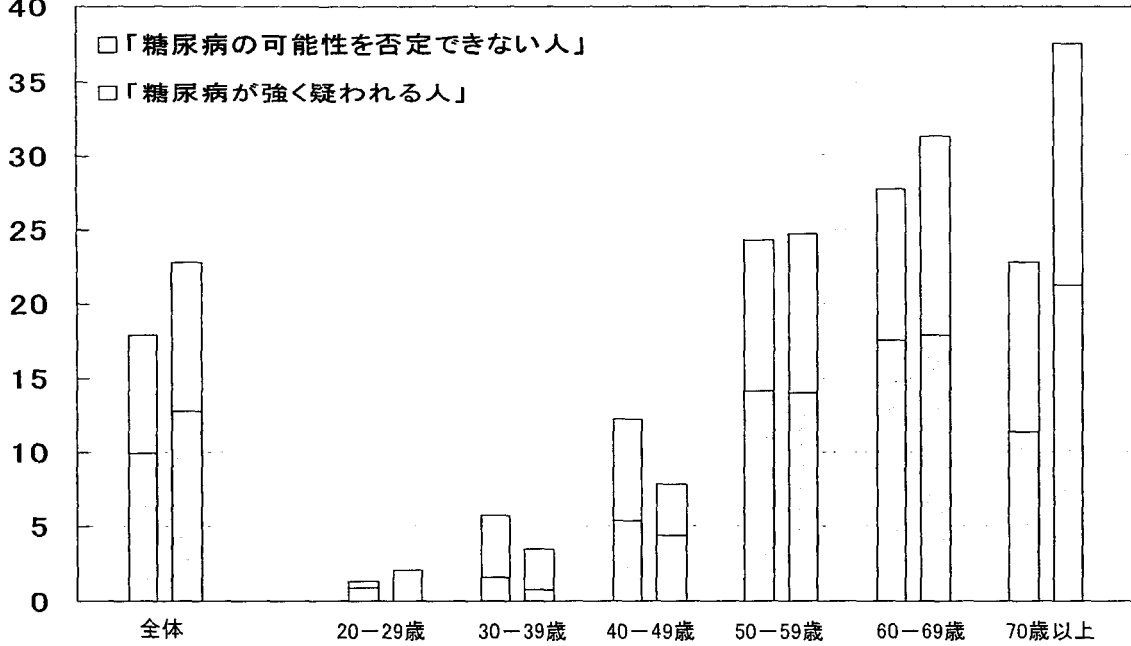
10

表1 糖尿病が強く疑われる人の割合(推計値と実測値の比較)

年齢層	H9糖尿病実態調査		予測(H14)		H14糖尿病実態調査	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20-29	0.9	0.9	1.0	1.0	0	0.8
30-39	1.6	1.6	1.7	1.8	0.8	0.9
40-49	5.4	5.3	5.9	6.1	4.4	3.6
50-59	14.2	7.1	15.5	8.1	14	4.6
60-69	17.5	10.6	19.1	12.1	17.9	11.5
70-	11.3	15.5	12.3	17.7	21.3	11.6

	H9糖尿病実態調査	予測(H14)	H14糖尿病実態調査
推計有病者数			
男性(万人)	360	430	450
女性(万人)	330	420	290

(%) ※ 各年齢層の左が平成9年、右が平成14年

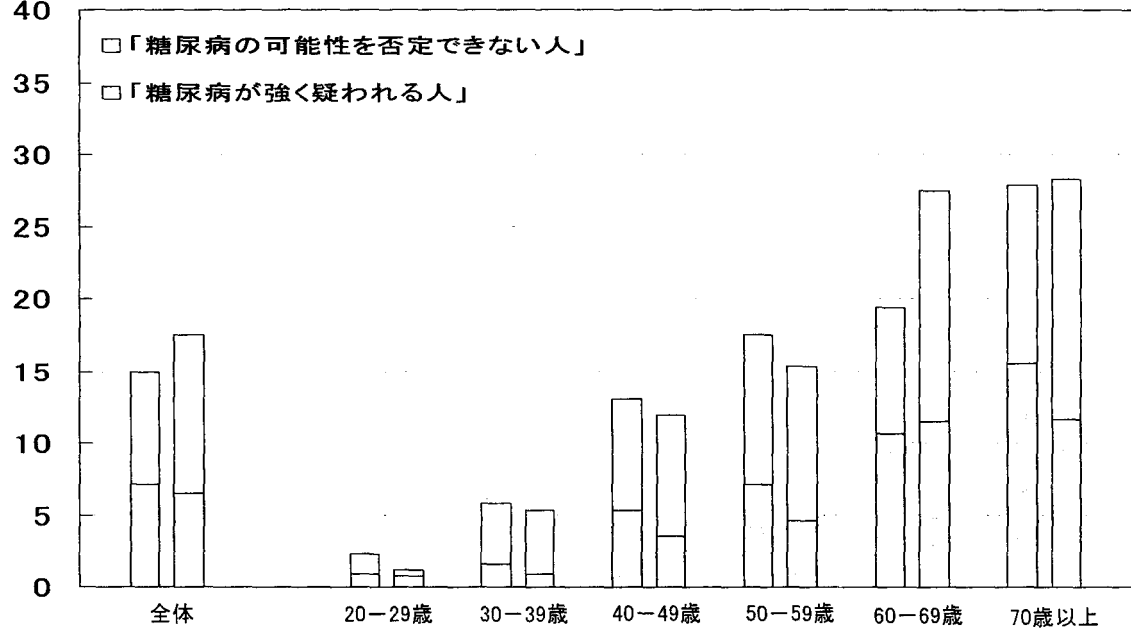


男性		全体	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成14年	対象件数	2150人	145人	257人	295人	429人	546人	478人
	糖尿病が強く疑われる人	12.8%	0%	0.8%	4.4%	14.0%	17.9%	21.3%
	糖尿病の可能性を否定できない人	10.0%	2.1%	2.7%	3.4%	10.7%	13.4%	16.1%
平成9年	対象件数	2403人	234人	317人	443人	486人	532人	391人
	糖尿病が強く疑われる人	9.9%	0.9%	1.6%	5.4%	14.2%	17.5%	11.3%
	糖尿病の可能性を否定できない人	8.0%	0.4%	4.1%	6.8%	10.1%	10.3%	11.5%

図11 糖尿病有病者の状況(男性)

(糖尿病実態調査) 12

(%) ※ 各年齢層の左が平成9年、右が平成14年

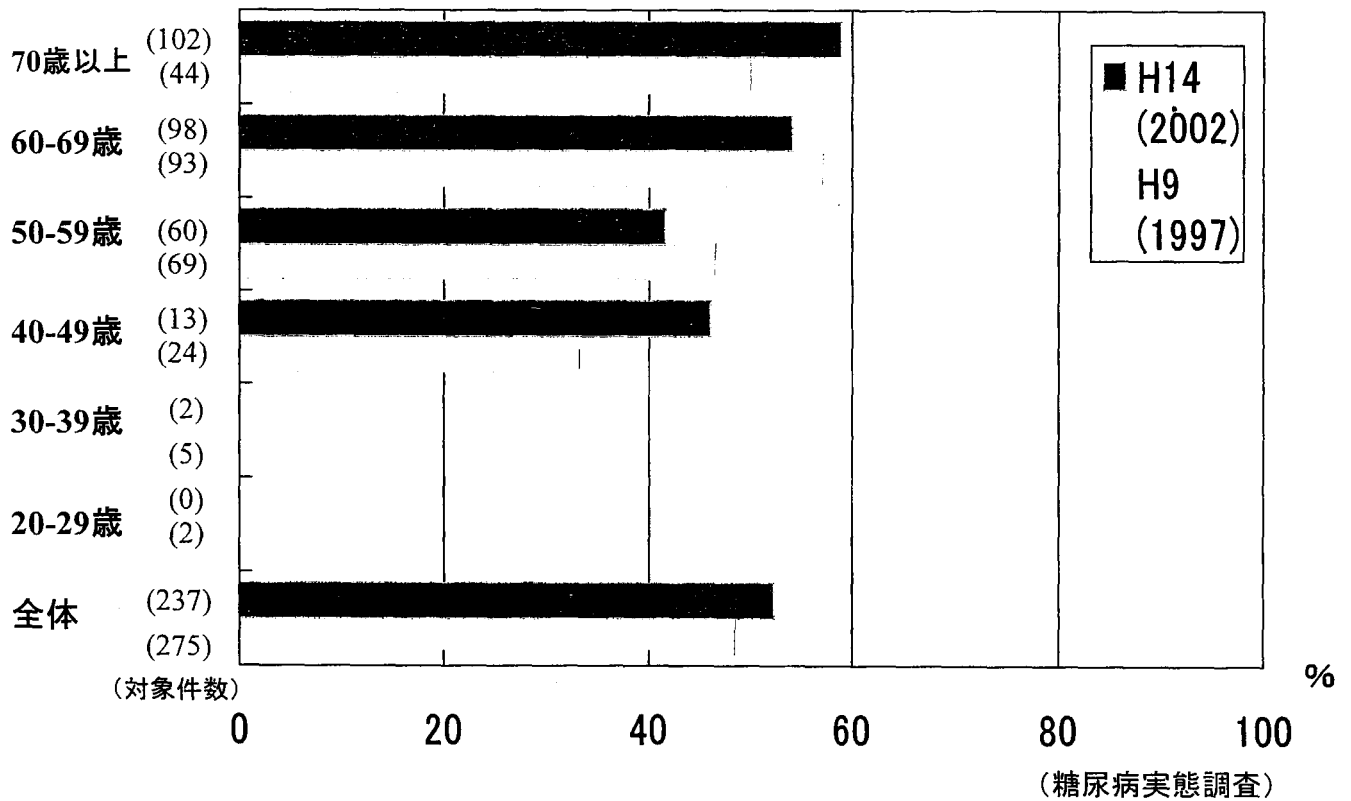


女性		全体	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成14年	対象件数	3196人	253人	456人	472人	694人	663人	658人
	糖尿病が強く疑われる人	6.5%	0.8%	0.9%	3.6%	4.6%	11.5%	11.6%
	糖尿病の可能性を否定できない人	11.0%	0.4%	4.4%	8.3%	10.7%	16.0%	16.7%
平成9年	対象件数	3656人	423人	553人	703人	761人	661人	555人
	糖尿病が強く疑われる人	7.1%	0.9%	1.6%	5.3%	7.1%	10.6%	15.5%
	糖尿病の可能性を否定できない人	7.9%	1.4%	4.2%	7.7%	10.4%	8.8%	12.4%

図12 糖尿病有病者の状況(女性)

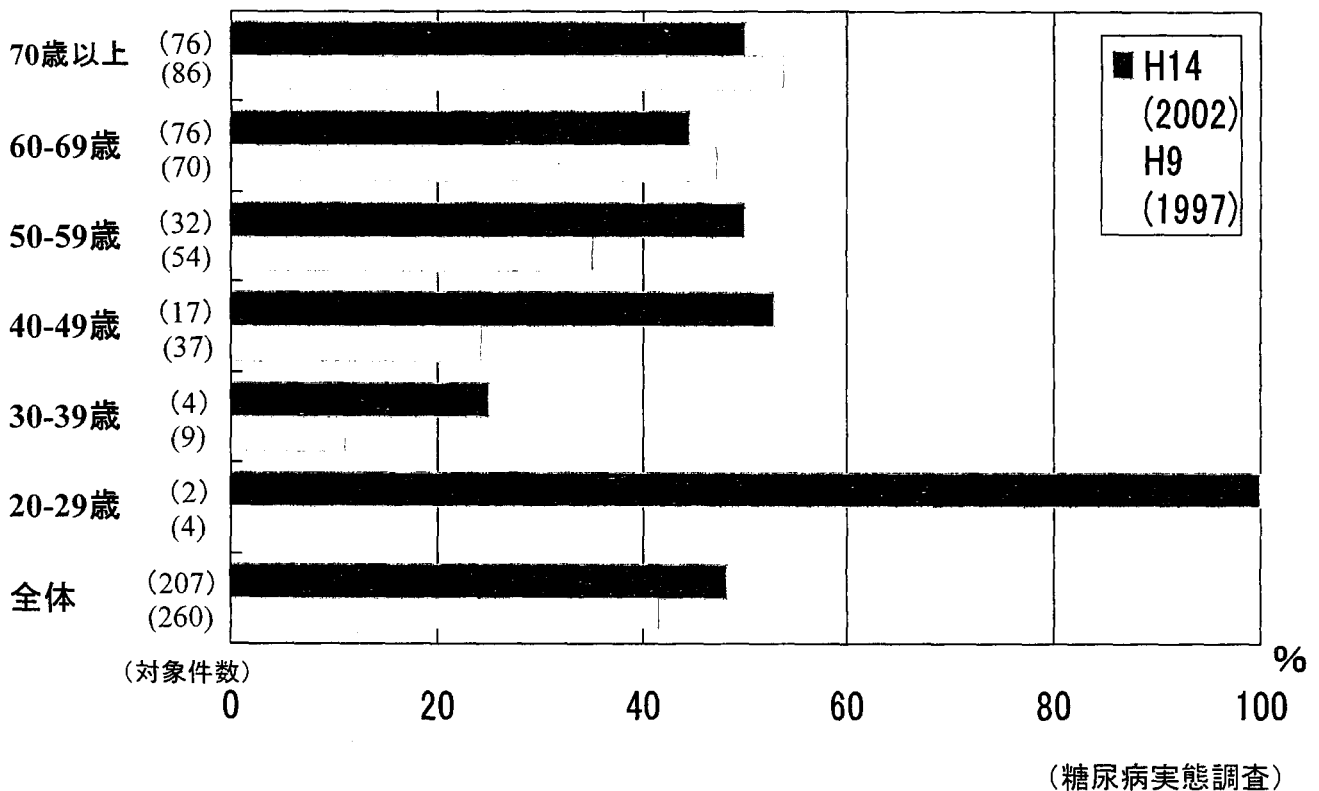
(糖尿病実態調査) 13

図13 糖尿病が強く疑われる人における治療継続率(男性)



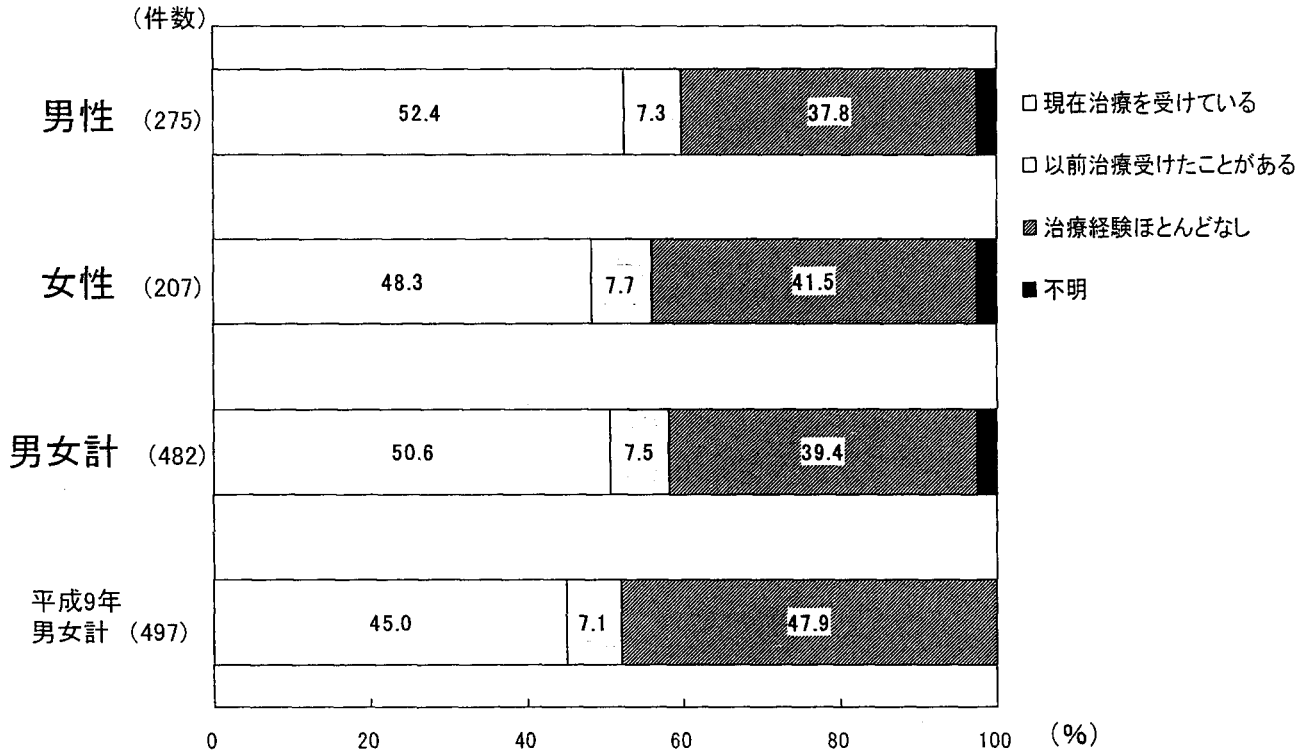
14

図14 糖尿病が強く疑われる人における治療継続率(女性)



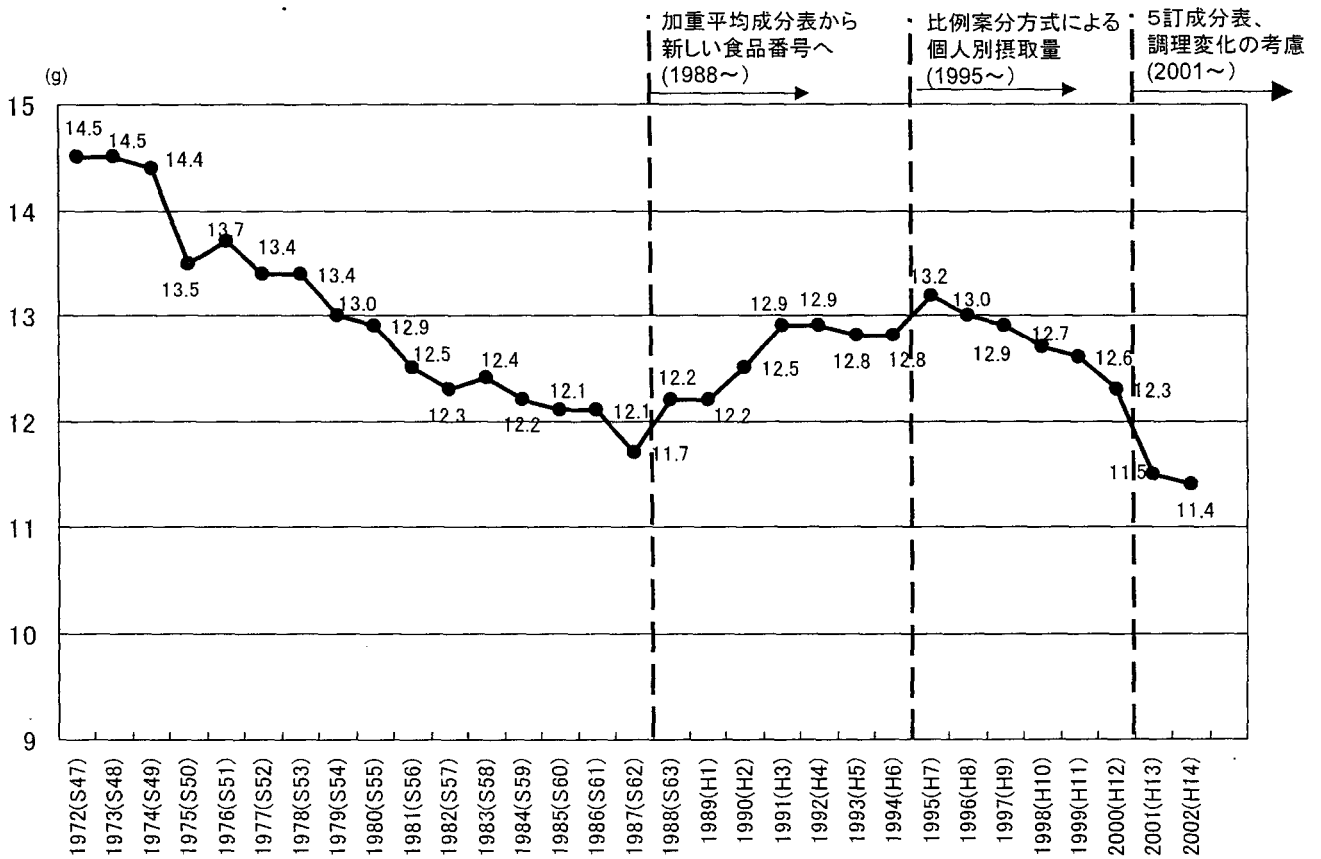
15

図15 「糖尿病が強く疑われる人」における治療の状況



(糖尿病実態調査) 16

図16 食塩摂取量の年次推移(1歳以上の平均値)



(国民栄養調査) 17

図17 食品成分表の切り替わりによるエネルギー及び主な栄養素の平均摂取量の変化

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	カルシウム (mg)
すべての食品(A)	1967	78.9	57.9	269	575
④を除外					
4訂で計算	1900	75.5	55.7	260	560
5訂で計算	1917	74.1	56.4	263	560
Δ(5訂-4訂)	18	-1.4	0.7	2.1	0.4
変化率(%)	0.9%	-1.9%	1.3%	0.8%	0.1%

	鉄 (mg)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
すべての食品(A)	11.5	1.18	1.43	129	12.6
④を除外					
4訂で計算	11.0	1.10	1.34	118	11.9
5訂で計算	8.9	1.00	1.20	116	11.3
Δ(5訂-4訂)	-2.1	-0.10	-0.14	-2.0	-0.6
変化率(%)	-19.4%	-8.8%	-10.6%	-1.7%	-4.9%

※1999年国民栄養調査データベースから④の食品(=5訂成分表の食品番号に対応しないもの。全レコードの4.1%)を除外したデータベース(n=12,590)を用い、旧国民栄養調査食品番号及び5訂番号により栄養素量を再計算。

図18 2002年(平成14年)国民栄養調査における加熱調理による成分値変化

	加熱調理による変化		Δ	Δ%
	考慮(-)	考慮(+)		
エネルギー	1961	1930	-30.5	-1.6
たんぱく質	75.2	72.2	-3.1	-4.1
脂質	57.3	54.4	-2.9	-5.0
炭水化物	269	271	2.1	0.8
カリウム	2830	2389	-441	-16
カルシウム	554	546	-7.8	-1.4
鉄	9.47	8.08	-1.40	-14.7
ビタミンA(RE)	1046	939	-107	-10.2
ビタミンB ₁	1.09	0.87	-0.21	-19.7
ビタミンB ₂	1.33	1.21	-0.12	-9.3
ビタミンB ₆	1.49	1.17	-0.32	-21.6
ビタミンB ₁₂	8.05	7.35	-0.70	-8.7
葉酸	389	308	-80.6	-20.8
ビタミンC	129	101	-28.2	-21.8
食塩相当量	11.9	11.4	-0.5	-4.2

(吉池, 2004)

図19 食塩摂取量の推移(平成7年~14年国民栄養調査)

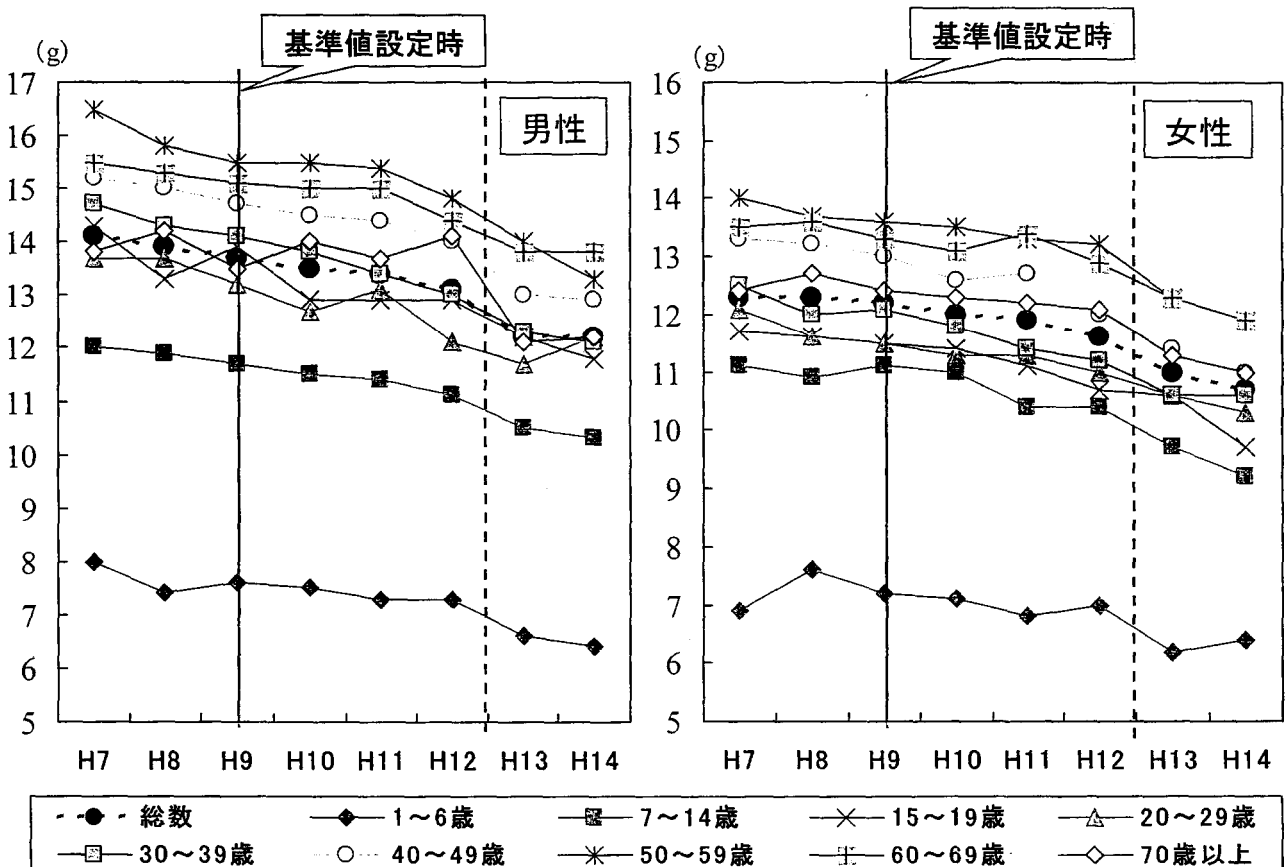


表2

塩分摂取量の地域差

地域						
	北海道	東北	関東1	関東2	北陸	東海
摂取量(g)	11.7	12.4	11.5	12.1	11.4	10.8

地域						
	近畿1	近畿2	中国	四国	北九州	南九州
摂取量(g)	11.1	11.3	11.5	10.6	10.7	11.1

(平成14年国民栄養調査)

20

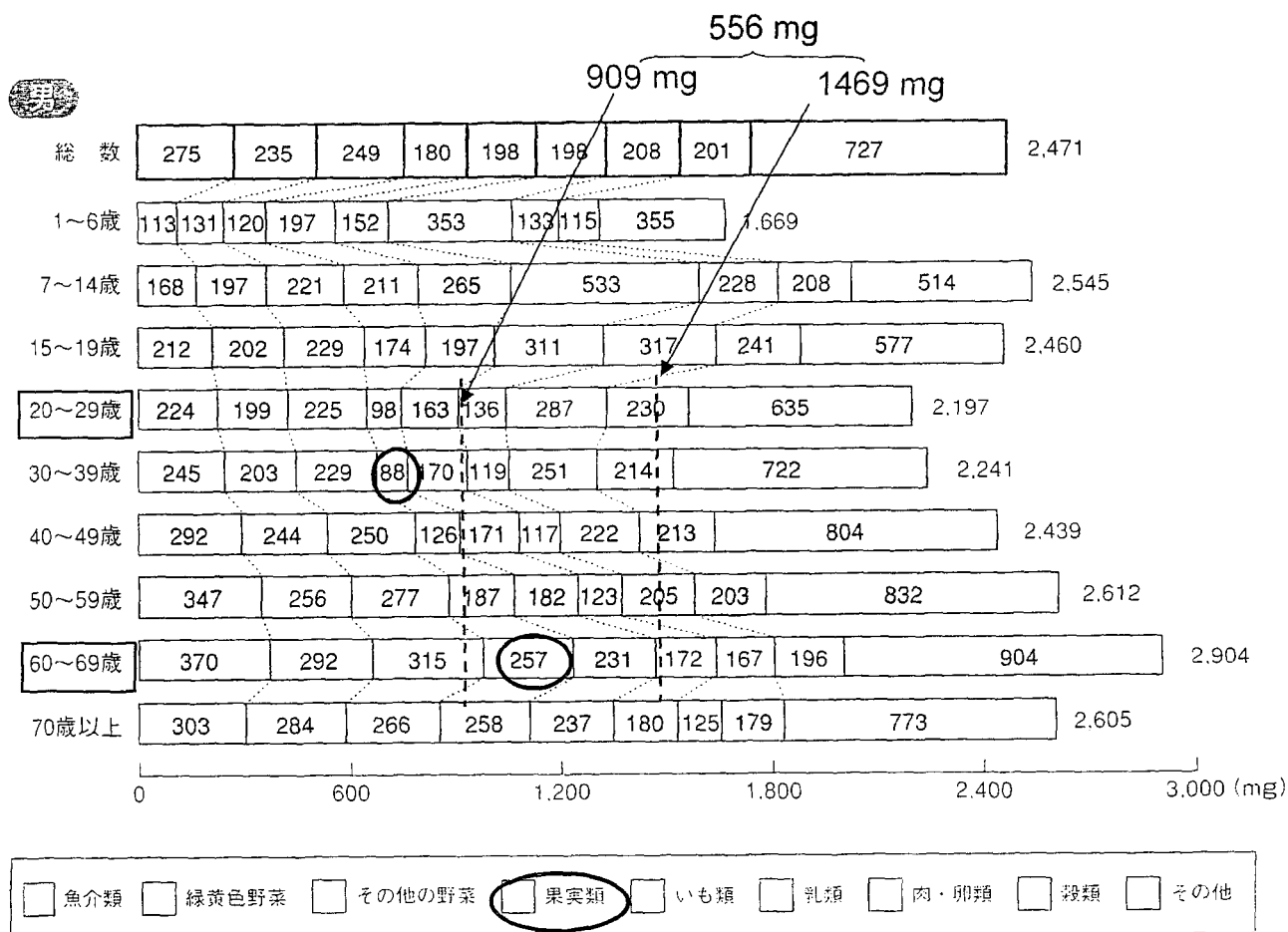


図20 年齢階級別 カリウム摂取量及び摂取源(男性) (平成14年国民栄養調査) 21

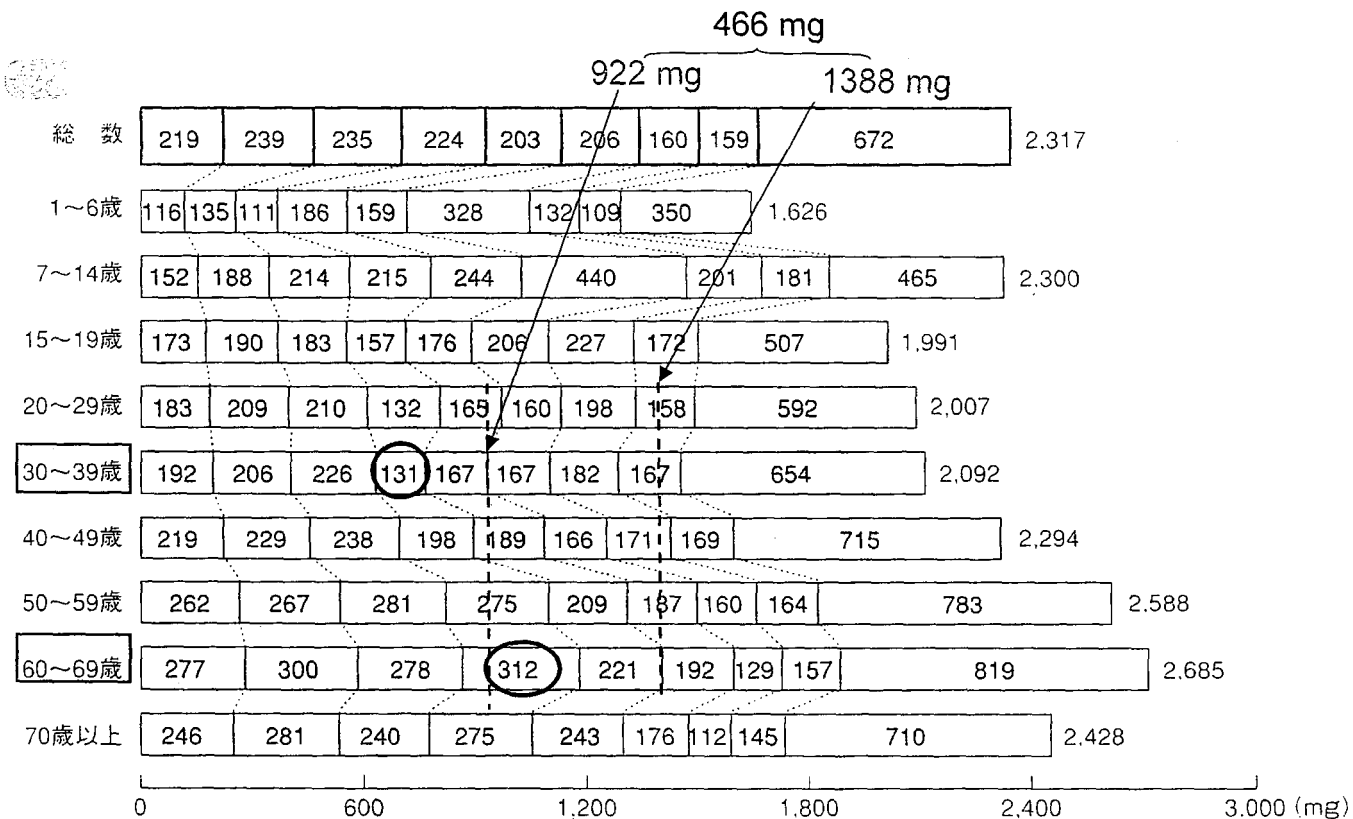
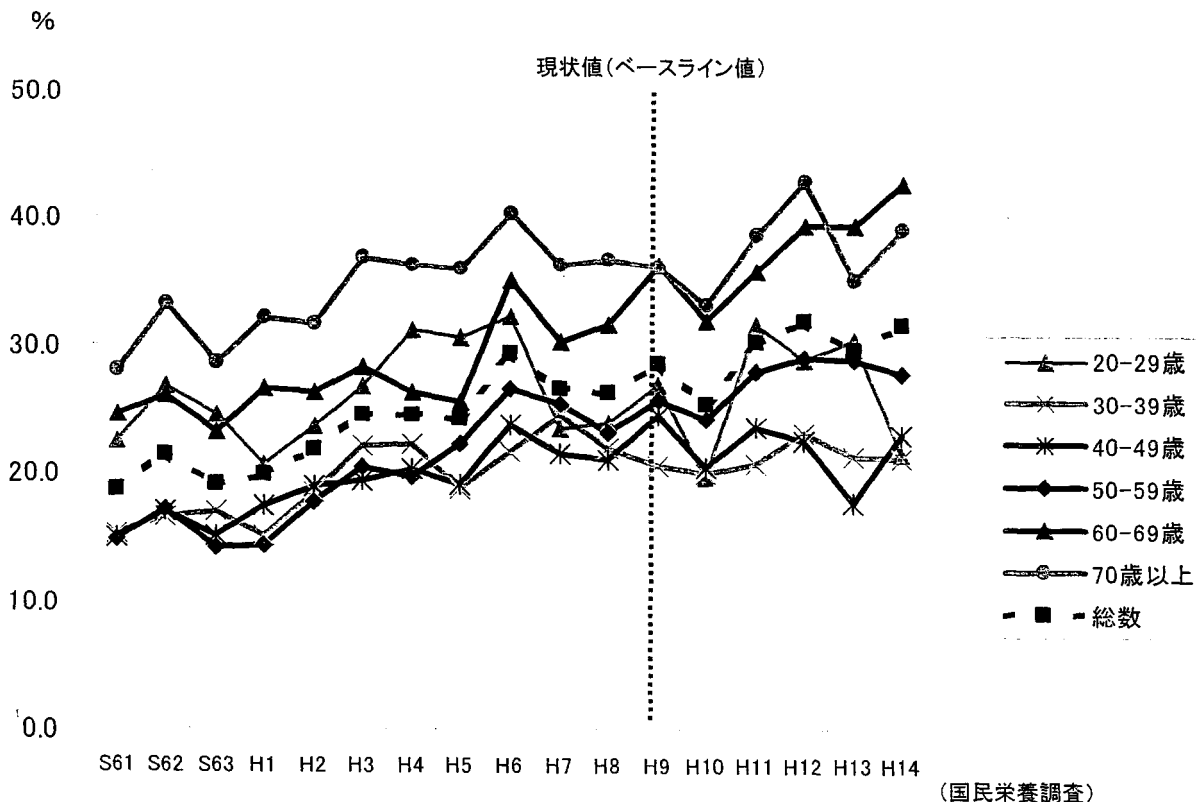


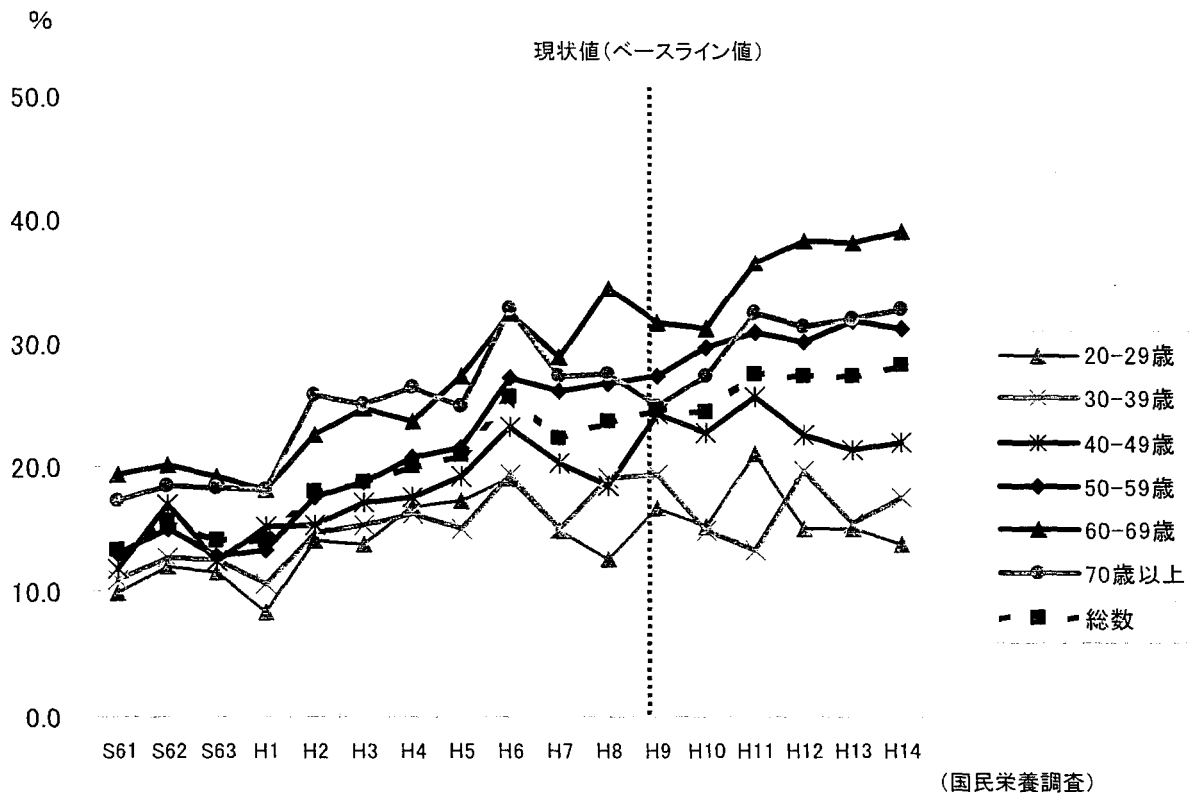
図21 年齢階級別 カリウム摂取量及び摂取源(女性) (平成14年国民栄養調査)

図22 運動習慣者の割合の年次推移(男性)



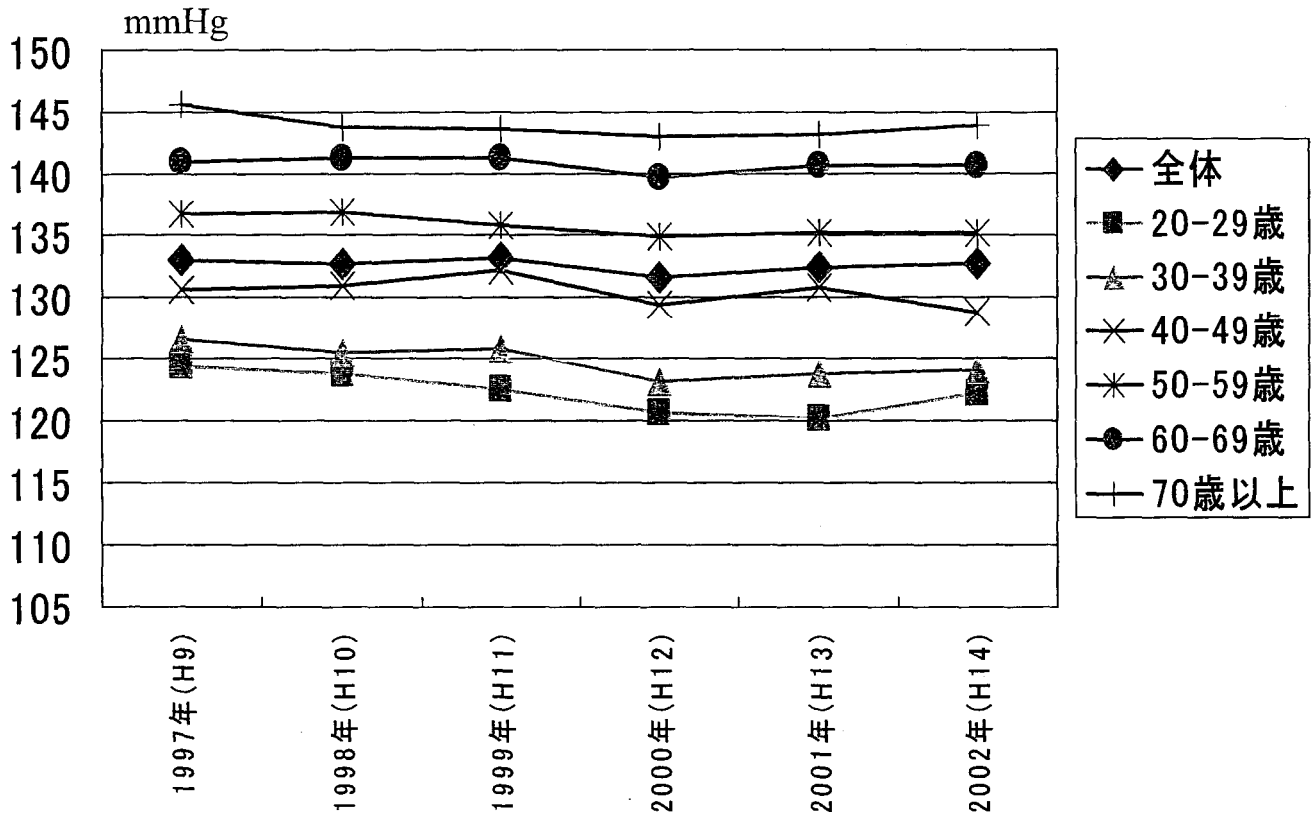
(国民栄養調査)

図23 運動習慣者の割合の年次推移(女性)



24

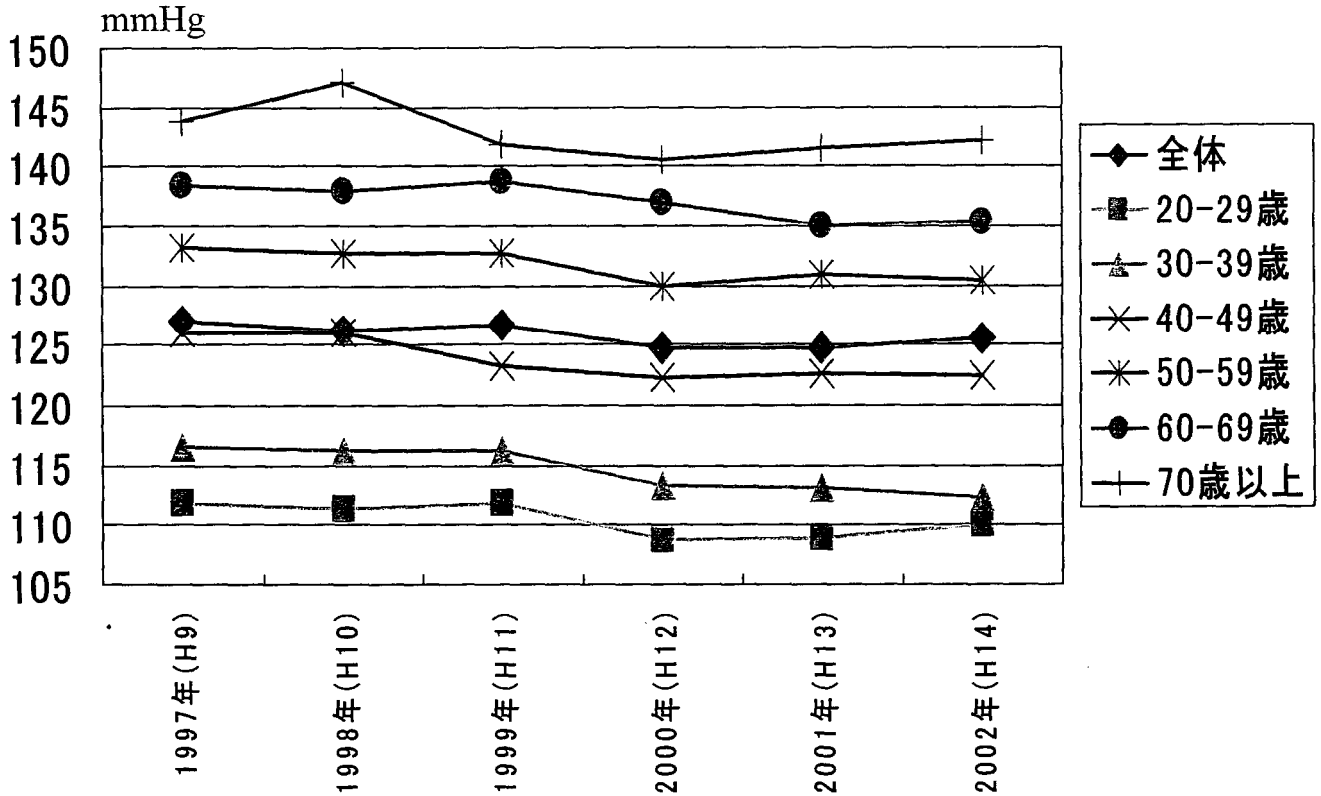
図24 平均最大血圧値の年次推移(男性)



(国民栄養調査)

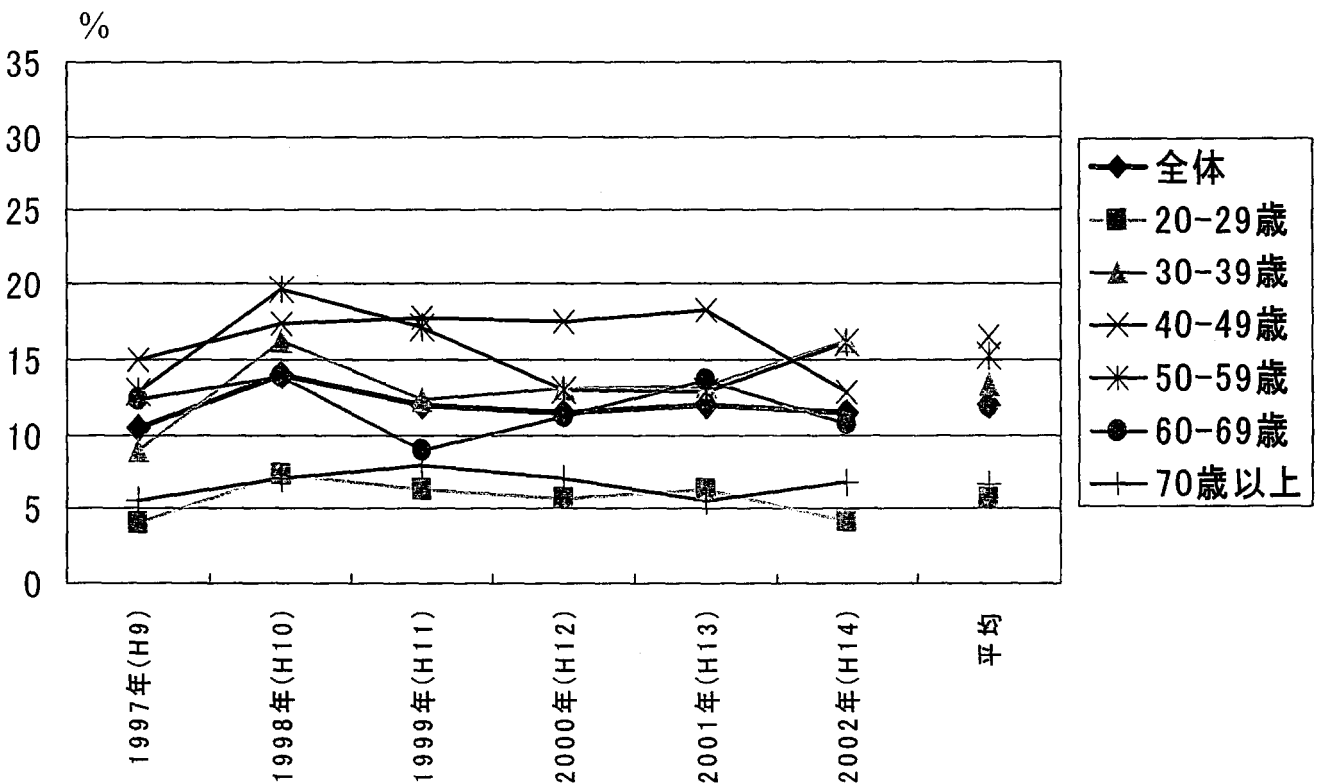
25

図25 平均最大血圧値の年次推移(女性)



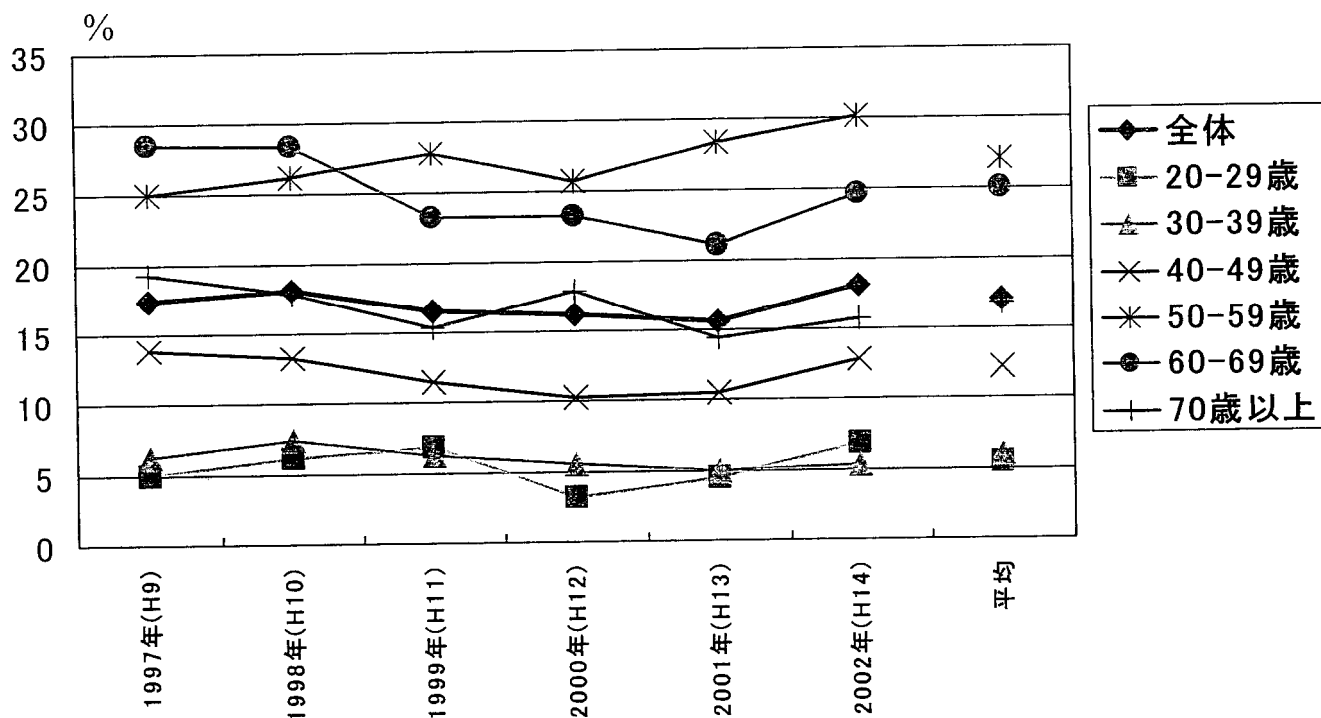
(国民栄養調査)

図26 高脂血症の人(総コレステロール 240mg/dl以上)の割合の年次推移(男性)



(国民栄養調査)

図27 高脂血症の人(総コレステロール 240mg/dl以上)
の割合の年次推移(女性)



(国民栄養調査)

28

表3 虚血性心疾患、脳卒中における死亡率の動向

死亡率の動向
虚血性心疾患

年	死亡数			粗死亡率			年令調整死亡率(2000年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1998	71678	38566	33112	57.1	62.8	51.7	61.6	67.2	56.5
1999	73927	39497	34430	58.9	64.3	53.8	61.1	66.5	56.1
2000	70183	37875	32308	56.0	61.7	50.4	56.0	61.7	50.4
2001	70957	38487	32470	56.6	62.8	50.7	54.6	60.8	48.7
2002	71537	39138	32399	57.1	63.9	50.6	53.2	60.0	46.7

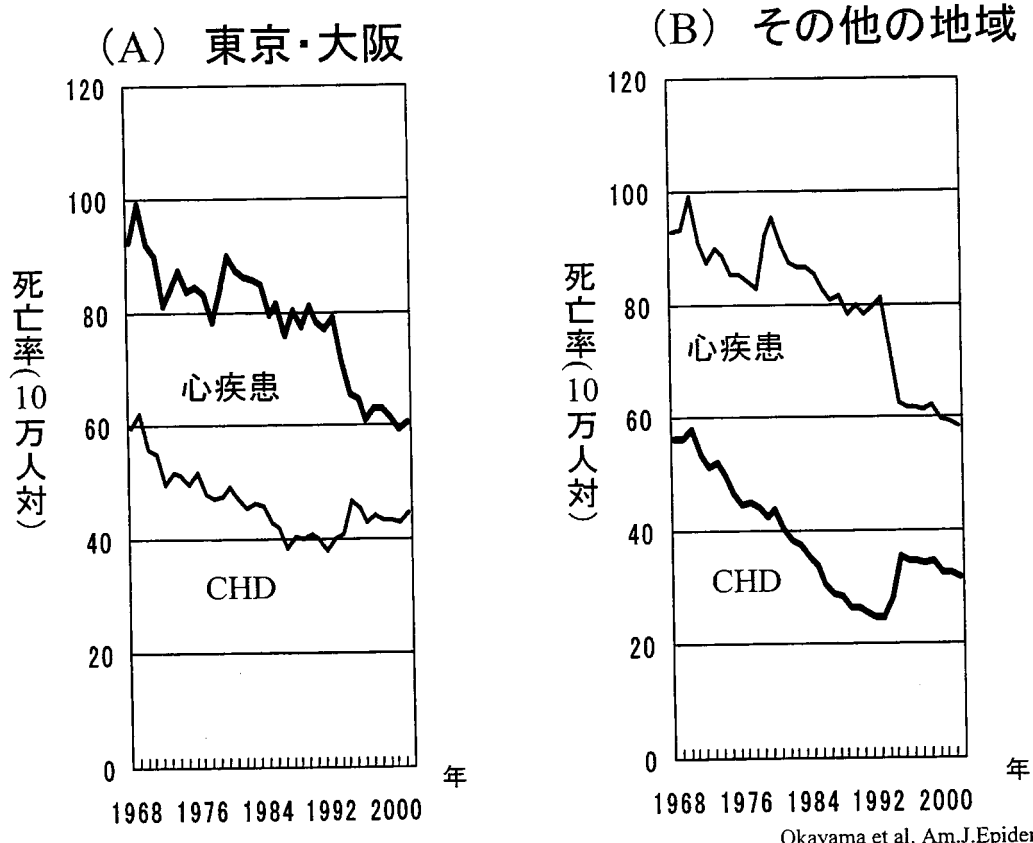
脳卒中

年	死亡数			粗死亡率			年令調整死亡率(2000年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1998	137819	65529	72290	109.9	106.7	112.9	119.2	114.8	123.6
1999	138989	66452	72537	110.8	108.2	113.3	115.3	112.2	118.4
2000	132529	63127	69402	105.7	102.9	108.4	105.7	102.9	108.4
2001	131856	63146	68710	105.2	103.0	107.3	101.2	99.4	102.7
2002	130257	62229	68028	103.9	101.6	106.2	96.3	94.8	97.6

(死亡数、粗死亡率は人口動態統計より)

29

図28 人口動態統計による30-69歳の
心疾患、虚血性心疾患の死亡率の動向(男性)



Okayama et al. Am.J.Epidem.2001 を改変 30

図29 野菜摂取量の推移(平成7年~14年国民栄養調査)

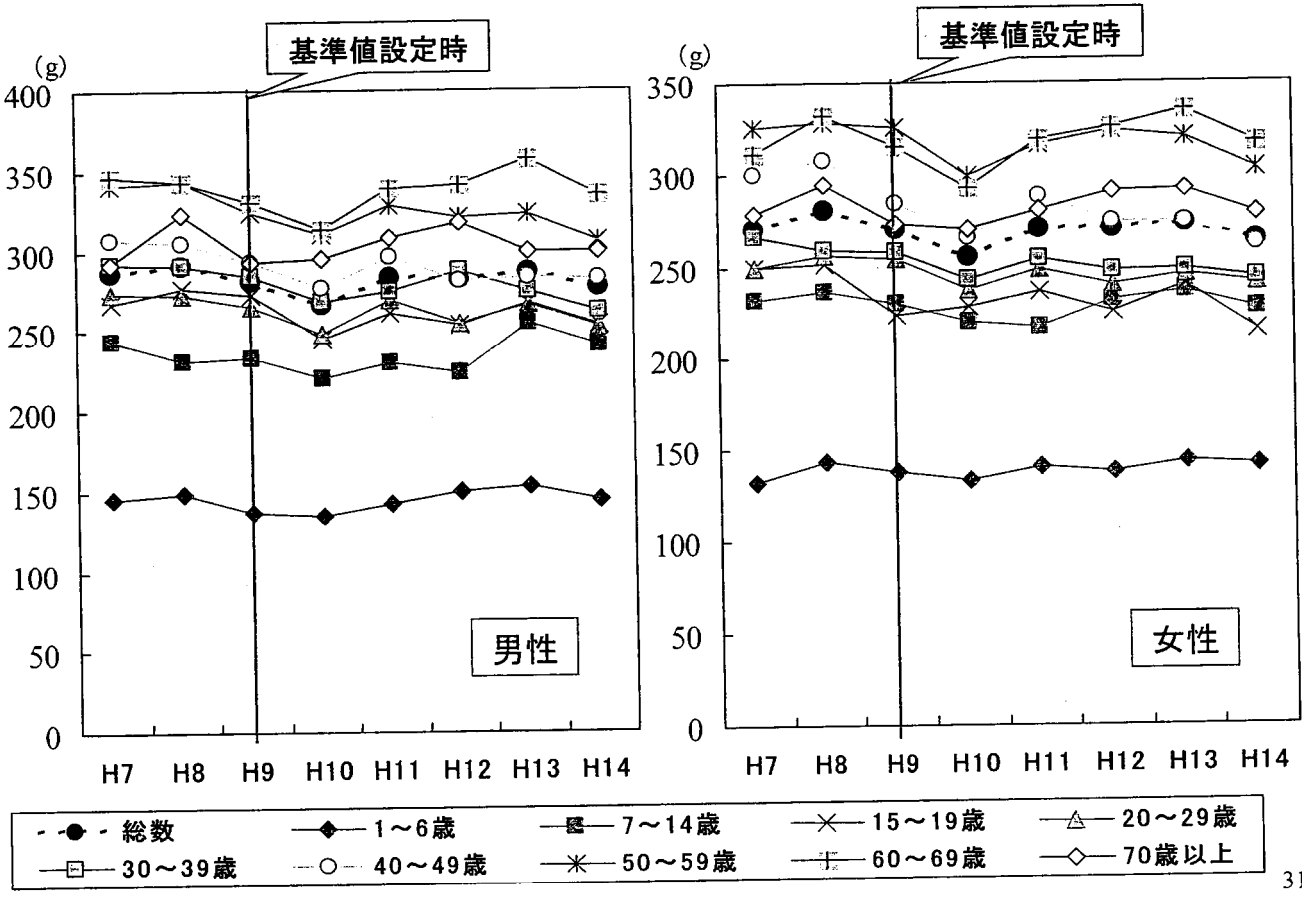


図30 野菜摂取量の現状(平成14年国民栄養調査)

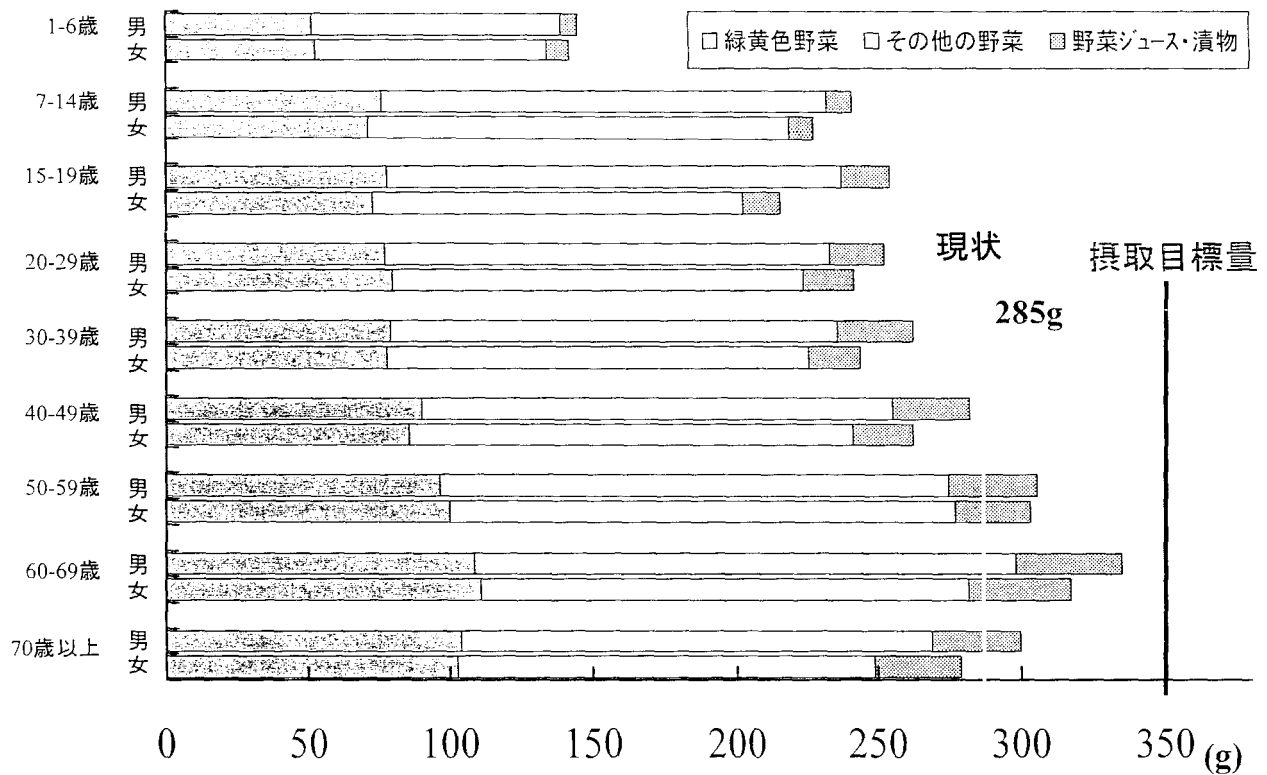
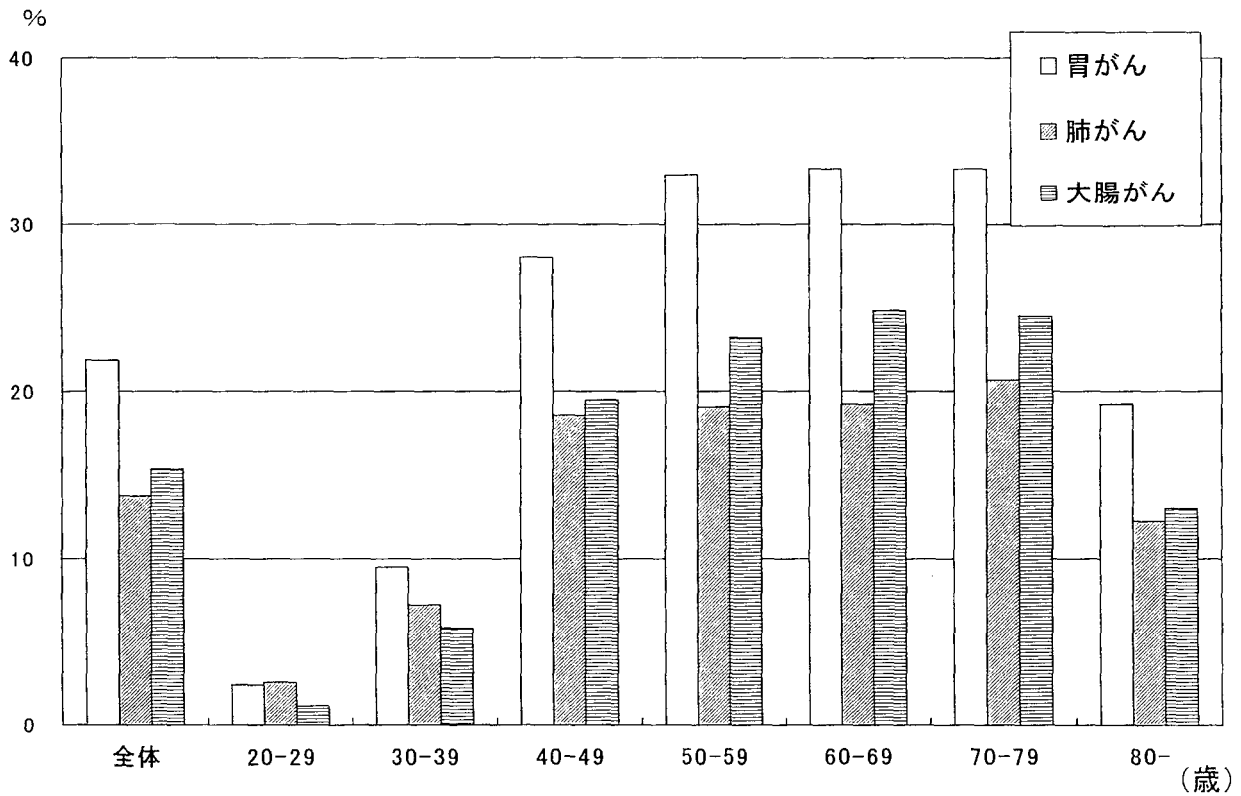


表4 「9.7 がん検診の受診者の増加」に係る調査の比較

分野	9. がん	
目標	9. 7 がん検診の受診者の増加	
調査名	H9年健康・福祉関連サービス需要実態調査	H13年国民生活基礎調査
実施主体	厚生省 統計情報部	厚生労働省 統計情報部
調査対象	全国の世帯及び世帯員	全国の世帯及び世帯員
調査客体数	調査世帯数 56,470世帯 回収世帯 49,845世帯 (88.3%)	調査世帯数 282,999世帯 回収世帯 247,278世帯 (87.4%)
調査法	・平成9年国民生活基礎調査で設定された世帯(約5万6千世帯)及び世帯員(約15万人)のすべて ・配布した調査票に記入し、後日回収する方法	・平成7年国勢調査区から5,240地区を層化無作為抽出 ・配布した調査票に記入し、後日調査票を回収する方法
質問	○次の検診の中に過去1年間に利用したのがありますか。当てはまる番号をすべて○で囲み、経費の自己負担額を記入してください。 (一次検診後の精密検査や病院・診療所で行う診療としての検査は除きます。) ・定期健康診断・一般住民検診 ・人間ドック ・胃がん検診 ・肺がん検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・大腸がん検診 ・その他のがん検診	○過去1年間に、がん検診を受けましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 (これらのがん検診については、健康診断(定期健康診断や一般住民検診)や人間ドックの中で受診したものも含まれます。) ・胃がん検診 ・肺がん検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・大腸がん検診 ・(上記5つのがん検診は)受けていない

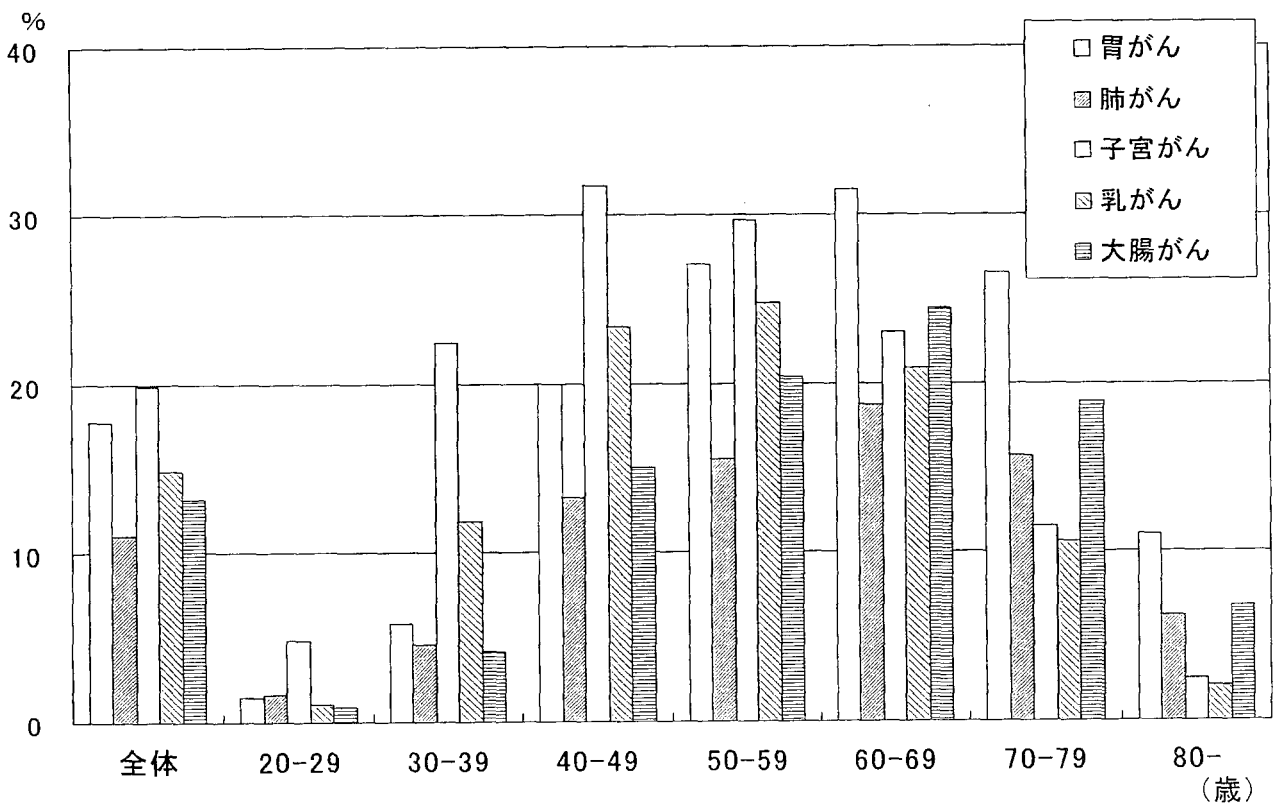
図31 年齢階級別がん検診受診率(男性)



(注: 受診者には入院者は除かれている)

(H13年国民生活基礎調査)

図32 年齢階級別がん検診受診率(女性)



(注: 受診者には入院者は除かれている)

(H13年国民生活基礎調査)